



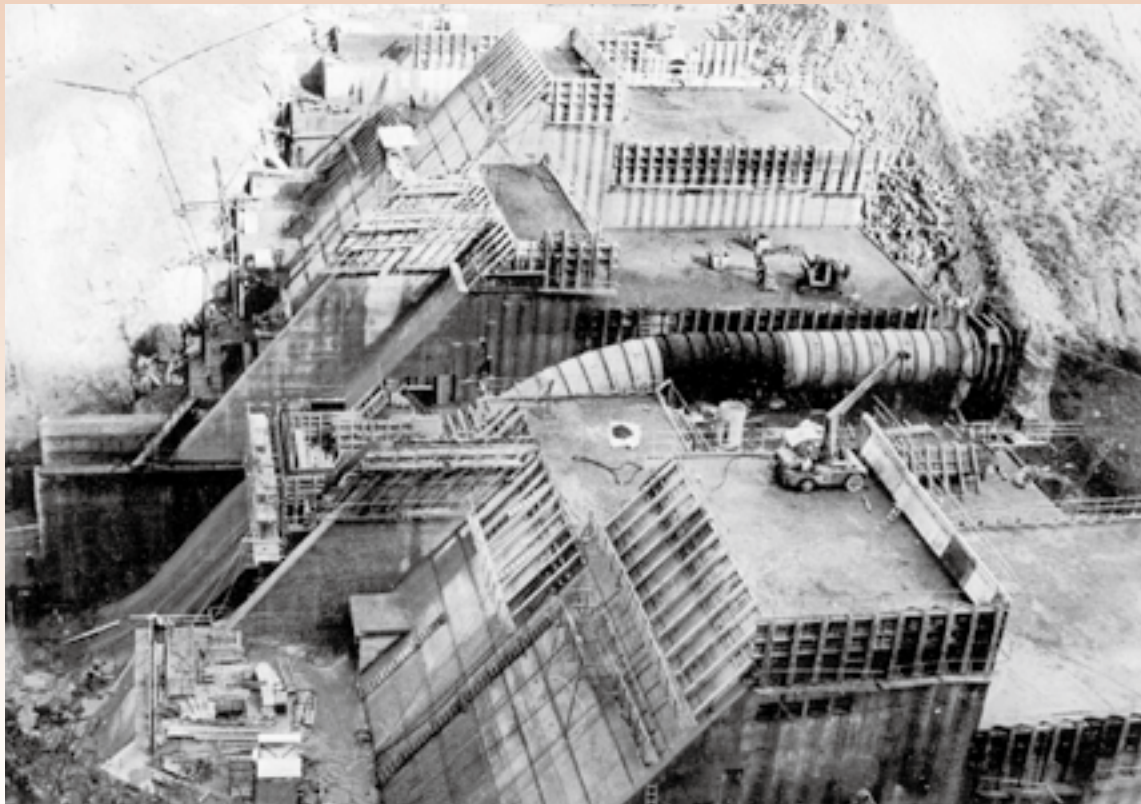
うわじま 市議会だより

平成23年

(2011)

第 **25** 号

12月1日



👉 山財ダム建設工事 (S54)

わたしのまちの今・昔

新しい議会構成決まる

議長に土居秀徳議員が就任

副議長に大窪美代子議員

一般会計補正予算 4億3,634万3千円を可決

累計 422億6,518万1千円



👉 現在

●就任あいさつ・定例会の概要・新しい議会構成・人事の同意・請願陳情 …………… 2～3

もくじ

●代表・一般質問 …………… 4～12

議長に土居秀徳議員が就任

副議長に大窪美代子議員



議長 土居 秀徳



副議長 大窪 美代子

市民の皆様には、日ごろから市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。私たちは、去る9月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じます。もとより微力ではございますが、円滑な議会運営

に努め、その使命達成と、より開かれた議会となるよう最善の努力を尽くす決意でございます。

現在、日本はもとより、世界経済が大変悪化しつつある中、地方都市の疲弊は更に長期化するものと思われれます。議会といたしまして、行財政改革を推進し、少子・高齢化社会に向けて、柔軟かつ的確に対応していかなければなりません。

市民の皆様の議会活動に対する関心は、極めて大きなものがあり、同時にその期待に応えていく必要があると考えております。

議員自ら研鑽を深め、議会の改革・活性化、チェック機能のより一層の充実を図り、その使命達成に努めてまいります。

皆様の方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

定例会の概要

平成23年9月宇和島市議会定例会は、9月9日に招集され、9月27日までの19日間の会期により開催されました。

【初日】9月9日

「宇和島市地域情報ネットワーク施設設置条例の一部を改正する条例」他13議案が提出され理事者より説明がありました。

【2日目】9月15日

代表質問、一般質問に6名の議員が登壇し、市政全般に関する質問が行われ、活発な質疑応答が行われました。

【3日目】9月16日

一般質問に5名の議員が登壇し、活発な質疑応答が行われたあと、初日提出議案、請願・陳情が、所管の常任委員会に付託されました。

また、「平成22年度宇和島市公営企業会計決算の認定について」及び「平成22年度宇和島市一般会計及び特別会計の認定について」は、決算審査特別委員会を

設置して、これに付託の上閉会中の継続審査としました。

【最終日】9月27日

各常任委員長から委員会における審査経過と結果についての報告があり、採決の結果、原案のとおり可決決定されました。

また、追加案件として上程された、人事案件11件につきましても提案のとおり同意、可決されました。

続いて、議員提出議案について提出議員より説明がなされ、採決の結果、原案どおり可決決定されました。

続いて、地方自治法第103条第1項の規定により、議長、副議長選挙を行ったあと、常任委員会の所属変更、決算特別委員会の委員選任を行い、9月定例会を閉会いたしました。

人事の同意

本定例会において、市長から11件の人事案件が提案され、満場一致で同意し、次の方が選任されました。

●宇和島市懲戒審査委員会委員

増田 吉利
(北宇和郡鬼北町 大字永野市981番地)
村上 登志雄
(和霊町1515番地1)

森 藤 裕 子
(三間町兼近571番地)

泉 定 男
(津島町岩松1155番地2)

田 中 忠 弘
(吉田町奥浦甲1740番地)

●宇和島市固定資産評価審査委員会委員

酒井 教 司

(野川甲1168番地65)

江 口 朋 宏

(津島町岩松甲723番地1)

清水 公 一

(天神町4番12号)

●宇和島市教育委員会委員

明 神 崇 彦

(愛宕町2丁目2番41号)

9月定例会審査結果

議 会 構 成			
議 長 : 土居 秀徳			
副 議 長 : 大窪美代子			
委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務委員会 (6名)	石崎 大樹	安岡 義一	松本 孔 兵頭 司博 小清水千明 赤岡 盛壽
厚生委員会 (7名)	三好 貞夫	三曳 重郎	岩城 泰基 大窪美代子 我妻 正三 藤堂 武継 浅田 良治
教育環境委員会 (7名)	福島 朗伯	木下善二郎	赤松 孝寛 坂尾 眞 上田 富久 山下 良征 泉 雄二
産業建設委員会 (6名)	赤松 与一	正木 健三	梶山 義将 清家 康生 薬師寺 三行 福本 義和
議会運営委員会	薬師寺 三行	木下善二郎	安岡 義一 三曳 重郎 石崎 大樹 福島 朗伯 清家 康生 赤松 与一 三好 貞夫 浅田 良治

番 号	件 名	議 決 結 果
専決第10号	平成23年度宇和島市一般会計補正予算(第2号)	承 認
議案第65号	宇和島市地域情報ネットワーク施設設置条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
議案第66号	宇和島市暴力団排除条例	
議案第67号	宇和島市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	
議案第68号	宇和島市行政財産の目的外使用に係る使用料条例の一部を改正する条例	
議案第69号	宇和島市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第70号	平成23年度宇和島市一般会計補正予算(第3号)	
議案第71号	平成23年度宇和島市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
議案第72号	平成23年度宇和島市病院事業会計補正予算(第1号)	
議案第73号	工事請負契約について	
議案第74号	市道路線の廃止について	
議案第75号	市道路線の認定について	
議案第76号	宇和島市観光交流宿泊施設の指定管理者の指定について	
議案第77号	宇和島地区広域事務組合規約の変更について	
認定第1号	平成22年度宇和島市公営企業会計決算の認定について	閉 会 中 の 継 続 審 査
認定第2号	平成22年度宇和島市一般会計及び特別会計決算の認定について	
議案第78号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即 日 同 意
議案第79号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
議案第80号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
議案第81号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
議案第82号	宇和島市懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
議案第83号	宇和島市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第84号	宇和島市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第85号	宇和島市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第86号	宇和島市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
議員提出議案第25号	軽油引取税の課税免除措置の恒久化を求める意見書	即日原案可決
推薦第1号	宇和島市農業委員会委員の推薦について	推 薦
選挙第1号	宇和島市議会議長の選挙	即 日 当 選
選挙第2号	宇和島市議会副議長の選挙	指 名 推 選
	常任委員会委員の選任について	
	議会運営委員会委員の選任について	即 日 当 選
選挙第3号	宇和島地区広域事務組合議会議員の補欠選挙	
選挙第4号	南予水道企業団議会議員の補欠選挙	
選挙第5号	津島水道企業団議会議員の補欠選挙	即 日 同 意
議案第87号	宇和島市監査委員の選任につき同意を求めることについて	
	平成22年度宇和島市公営企業会計決算審査特別委員会の設置について	即 日 承 認
	平成22年度宇和島市公営企業会計決算審査特別委員会委員の選任について	指 名 推 選
	平成22年度宇和島市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会の設置について	即 日 承 認
	平成22年度宇和島市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会委員の選任について	指 名 推 選

広域等団体議員名簿

広域事務組合 (8名)	梶山 義将・清家 康生 松本 孔・兵頭 司博 山下 良征・土居 秀徳 泉 雄二・浅田 良治
南予水道企業団 (5名)	赤松 孝寛・清家 康生 上田 富久・小清水千明 土居 秀徳
津島水道企業団 (5名)	三曳 重郎・兵頭 司博 福本 義和・土居 秀徳 泉 雄二
監査委員会 (1名)	福本 義和

請 願 陳 情

●人権擁護委員

勇 八郎

(野川甲1233番地13)

●宇和島市監査委員

福 本 義 和

(下波914番地)

(ハ)議会招提出分)

◆陳情第23号

喜佐方共同選果場(柑橘選果プラントシステム)更新に係る請願書
(産業建設委員会)

採 択

(継続審査分)

◆請願第11号

グランド・ゴルフ場(認定コース)開設に関する請願書
(産業建設委員会)

審議未了

◆陳情第13号

学校給食無料化の実施を求める決議の陳情書
(教育環境委員会)

審議未了

◆請願第20号

宇和島市祝森字松尾地区への「ミニ処理施設新建設」反対を求める請願書
(教育環境委員会)
取下承認

◆陳情第22号

裡田川護岸敷の舗装と、河川に直交する赤道の整備に関する陳情書
(産業建設委員会)
継続審査

意見書

9月定例会に議員提出議案として提出された意見書は議決され、関係省庁等へ提出されました。

★軽油引取税の課税免除措置の恒久化を求める意見書

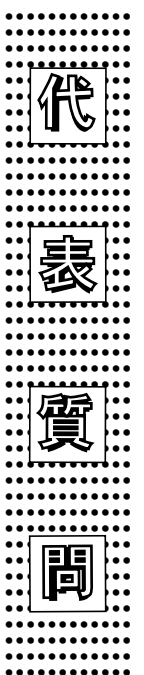
漁業、農業など各産業分野の発展に貢献してきた軽油引取税の課税免除措置(免税軽油制度)が、平成24年3月末に廃止される予定となっている。

この免税制度を利用して、いる漁業者、農業者の多くは、経営規模が零細であることや就業者の高齢化など、厳しい状況に置かれているが、特に漁業経営においては、燃油代が生産コストの大きな比率を占めており、かねてからの水産資源の減少や漁価の低迷などに加え、燃油価格の高騰が続く中、

その経営内容は急速に疲弊し、漁業経営の厳しさはますます深刻の度合いを深めている。

このよつな中、軽油引取税の課税免除措置が廃止されれば、農林水産業など幅広い分野で、経営者が更に困難な状況に追い込まれることは明白である。

よつて、国・県におかれ、漁業者、農業者などの経営の安定を図るため、軽油引取税の課税免除措置の恒久化について、特段の措置を講ずるよう強く要望する。



自民党議員会

三好 貞夫

第一次産業の活性化について

【質問】

農・畜産物の、流通・販売体制の拡充・強化について、JAとどのように連携を図り、どのような成果を得たのか、また、今後の対応について伺います。

次に、耕作放棄地が市内にどの程度存在するか、また、解消に向けた農地の有効利用について伺います。また、有害鳥獣の駆除及び被害対策について伺います。次に、JAえひめ南の光センサーの更新を、支援される用意があるか伺います。

次に、真珠産業を取り巻く現状に対し、どのような認識か伺います。また、真珠組合の解散に伴い、貝殻破碎工場が手放されますが、

質問

どう対応されるか伺います。次に、経営効率化技術研究事業について伺います。次に、軽油の免税措置の継続を、愛媛県、国に対し強く要望していくべきと考えますが、所見を伺います。

【答 弁：産業経済部長】

農・畜産物等のPRと販路開拓を図るべく、都内をはじめ、東北、北海道地方の百貨店、道の駅、農協等で販売促進活動を行いました。その結果、ギフトカタログに掲載される等の成果があります。JAとは、常にこの事業の中で連携し、共に行動して参りました。

柑橘類は、産地間競争が重要な課題で、新品種の導入や、周年供給体制の確立に努めたいと思います。経営耕地面積に占める耕作放棄地の割合は約24%で、販売農家235ha、自給的農家202ha、土地持非農家702haが耕作放棄地です。今後は、受け手の

育成と相まった農地流動化を促進し、地域の実情に合わせた対策を進めます。有害鳥獣による被害対策は、1年間を通じて捕獲をする「予察捕獲」を行っており、鳥獣をすみかに追い込む効果も期待されます。

【答 弁：市長】

光センサーも、必要な支援はしたいと思いますが、市なりの農業政策を担当からきちんと聞き、本当に必要な判断した上で最終的に考えたいと思っており、12月議会に結論をお知らせしたいと考えています。次に、水産業については、農業以上に厳しいところも一面ではあると思っております。また、貝殻の破碎工場ですが、真珠貝の処理、現状は生産者の方から、処理業者、輸出業者とかに売れるものは売り、残ったものは産廃業者に取引願っている。工場処理するより安いコストだと聞いており、今までの同じ目的では運営が難しいと認識しています。

【答 弁：産業経済部長】

ハマチ養殖の飼育試験の

結果、飼育尾数が少ない方が餌の効率が良く、多い方が餌を多く食べる傾向があり、最終的に、1㎡当り27

自民党市民クラブ

安岡 義一

財政について

【質問】

宇和島市の主な財政指標の推移は、財政の弾力化を示す経常収支比率が大きく改善され、また市の貯金である財政調整基金も増加しています。しかし、今後は合併に伴う地方交付金などの特別措置も減少し、自主財源である地方税の落ち込みなど将来不安が現実として迫っています。当市においては大きな事業が喫緊の課題として山積しています。国の政治も安定しない要因の一番は財政問題であり、高齢化に伴い、社会保障費は膨らむ一方で税収は減っていく、これは我々地方自治体も全く同じです。当市は自主財源に乏しく、地方

kg程度の飼育密度が最も適していると分かりました。軽油引取税の免税措置については、国の機関への要

交付税に依存しています。これからの事業の推進と財政の健全化、自主財源の減少らの整合性について、答弁をお願いします。

【答 弁：市長】

宇和島市の財政決算の概要で述べられているとおり、健全性を保ちながら運用をしております。国の動向は我々の地域の財政運営に変化を催します。財政を運営するにあたって借金なしでやれるのが一番いい、これが理想であります。ただ宇和島市は自主財源が大変少ないという中においては、財政運営をやっていかなければなりません。いまの交付税が続くというのが前提でありますが、適度な借金もしながら、有利な起債の制度も利用しながら、必要な事業はやっていきたいと思っております。

望や県市長会への提案を行っております。今後も極力手を尽くし、制度が継続されるよう努力して参ります。

教育行政について

【質問】

数年前より中学校の風紀の荒れが報告されており、中学校という年頃は大人の世界を垣間見る時期であり、実社会に向けた友達、仲間づくりの大切な年代で、社会の影響を大きく受けやすく、まだまだ保護者や社会の指導が必要とされます。どのような問題行動が報告され、他の生徒にどのような影響を与えているかを調査されているのか、教育委員会ではどのように対応していく考えなのか、問題行動を未然に防ぐ為、今後の

その他質問事項

◆九島架橋の建設について

取組みはどのように考えているか答弁をお願いします。

【答 弁：教育長】

ごく一部の生徒の言動により、市内の中学校全体が風紀が、大変乱れているかのように言われているのではないかと心配しています。校内にて様々なトラブルは発生していますが、それぞれ教職員が適切に対応しています。授業等の学校内における教育活動については、大きな影響は見受けられません。学校外での問題行動にどう対応するかが現在の課題となっています。南予児童相談所や宇和島警察署等の関係機関、関係中学校、

- ◆防災について
- ◆滞納問題について

その他の質問事項

- ◆観光行政について
- ◆農林行政について
- ◆公共施設の建設見直しについて

自由民主党

兵頭 司博

病院事業について

【質問】

市立宇和島病院におかれましては、看護師不足の問題はありますが、経営状況は堅調に推移しているかと伺っております。吉田、津島病院も赤字額が減少傾向にあると聞いておりますが、

平成22年度の決算状況を病院「こころ」に回答いたします。また、看護学校通学生への奨学金制度を導入し五ヶ月が経過しましたが、利用状況等お答えください。市立宇和島病院は、宇和

島圏域の地域医療の中核病院であります。私見で結構ですので、将来的な展望について何かお考えがあればお聞かせください。

【答 弁：市 長】

市立宇和島病院を中心に3病院すべてが黒字ではありませんが、経営も改善されつつあります。病院を維持するため、看護師を是非増やしたいと思えます。

【答 弁：医療行政管理部長】

平成22年度の病院事業決算状況を説明いたします。病院事業全体としては昨年の4月に診療報酬のプラス改定があり、前年度と比較して、入院および外来収

益は概ね増収となりました。

まず、宇和島病院ですが、昨年7月より厚生労働省の指定を受け、DPC（診断群分類包括評価）対象病院となり、医療の質の向上とコスト削減に努めた結果、収益的収入は、前年度と比較して4億以上の増収となりました。一方、収益的支出は、診療材料のコストダウン化を図り1億8千100万円の減額となり、新病院建設に伴う減価償却費が10億円を超えていますので、帳簿上の収支は純損失を計上しておりますが、キャッシュフロー的には、堅調な水準を確保しています。

吉田病院は収支を単年度キャッシュフローで見ますと、21年度が1億1千万円程度の資金不足であったのに対し、22年度は8千万円程度と若干改善傾向になっております。

津島病院は、キャッシュフロー的には、21年度4千万円程度資金を上積みし、本年度も同程度を上積みでき、かなり改善しました。

次に奨学金制度導入後の利用状況ですが、この制度は、看護師および助産師を目指す学生を対象とした制度です。昨年10月に施行し、当初の応募者は12名でしたが、締切後も多くの問い合わせ

寄せ等がありましたので、結果的に随時募集という形になりました。その結果、現在18名の学生に奨学金を貸与しております。

【答 弁：病院事業管理者】

病院局においては、市立の3つの病院をどういう形で運営して持続するかというのが最大で最重要課題であります。

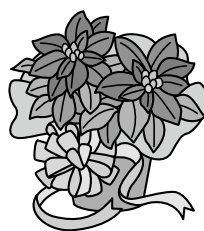
宇和島病院は改築で医療環境が改善され、医師の不足が緩和され、症例が多く指導者があり、現在は順調であると考えています。

しかし、現在吉田病院、津島病院では一方で一般病床の利用率が50%以下です。

今後宇和島の3病院が生き残るために種々の問題を検討して基本計画を策定する予定にしております。

その他の質問事項

- ◆財政について
- ◆危機管理体制について
- ◆観光振興について



自民党島志会

(現自民党議員会)

赤松 与一

えひめ南予いやし博

2012

【質 問】

平成23年度に予定の、高速度路の宇和島延伸により、南予地域は新たな局面を迎える事になります。

特に、宇和島圏域（宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町）は、これを契機に南予全域の観光振興と地域活性化につながるために、県や関係市町、地元関係者等が一体となって、宇和島圏域観光振興イベントを平成24年4月22日～11月4日まで開催の予定です。

イベント開催を通じて、何度も訪れる価値のある場

所としての認知を広めるなど、宇和島圏域のブランド化を図るものとすると言われていますが、どのような理由で、「いやし博」としたのか、市長にお聞きします。

【答 弁：市 長】

このネーミングは、県と立ち上げたイベント実施委員会です。

我々の地域は、遍路文化を持ち、南予の一番誇るの

は人の温かみだと言う事も含めて、大半の人がいやしという事がいいのではないかとこの事で決まりました。

私としては、イベントをにぎやかにしようというのはいやしというのではインパクト弱いかと思います。したが、期せずして3月11日大変な地震、津波、原発被害等起こっております。そういう事を考えるといやし博

というのは、日本全体の人を迎えるという意味において的所だと思っております。一番大きな架空的なイベントは、コアイベントと称しております。あと地域イベントと称して宇和島市でも夏祭りとか今までもやっているもの。今まではやっていないけど今回のイベントを契機にやっという自主企画イベント。

この3つの大きな組み立てでやっていることというところで今取り組みがなされています。

【質問】

三間、吉田、宇和島、津島でどのような内容でイベントを計画していますか。

【答 弁：産業経済部長】

自主企画イベントは、地

公 明 党

木下善二郎

給食センターについて

【質問】

給食センターについては、埋立地で海拔も低く地震による津波被害、液状化が免れない建設予定地であること、また、災害時は被災者への食事提供に大きく寄与できることや、災害後の小中学校の授業再開に給食の提供ができることを訴え、再度6月27日に「公共施設建設に伴う提言書」を提出いたしました。

給食センターや養護施設等は、一般市民が直接利用

域住民が主体となって実施するもので、県の実行委員会により、観光商品化できるものは、商品化へのブラッシュアップを行い、上限50万円の事業費補助もありません。

旧宇和島市と旧3町にそれぞれ実行委員会を設置し、提案や検討協議を行ってま

しない施設であり、行政の責任で入居者の安全と生活の場の確保、災害後の役割等を考慮し決定するべきものであります。代替地での建設は、用地買収や設計変更など、新たな経費も生ずることではありますが、議会の提言に断固目を貸さず、代替地確保の検討もしない、ただ、用地交渉等の必要の無い市有地に建設ありきの姿勢ははなはだ疑問であります。

市長は先の大震災で介護が必要な方とその家族がどれほど悲惨な思いをしたかご存じでしょうか。限られた財源の中で費用対効果を最優先し、命を軽視する公共施設の建設は誠に慎まな

いりました。それから広く市民全体からも提案を募るため、広報うわじま5月号に募集記事を掲載しました。また、各種団体等にも個別にお知らせをいたしました。その結果、72件の応募があり、1市3町。つまり愛南、鬼北、松野をいれますと100件を超えていると

ければなりません。福祉避難所の必要性が言われる昨今、津波被害が確実に予想される立地に、議会の反対を押し切って建設に向かおうとする市長の姿勢は許容できません。

給食センターも養護施設も計画予定地に建設せざるを得ないと思われる専門家の意見が付いた納得できる説明が無い限り、我が党は容認できるものではありません。

私共が納得できる、わかりやすいご答弁をお願いします。

【答 弁：市長】

私の意思は変わっていませんが、議論は必要です。今月を目途に、議会とも

聞いています。その中で30件程度に絞られていると聞いております。

選挙に漏れたものについては、見込みのあるものとか、いやし博が終わってからあとにもつながるような企画については、市としても支援をしていくと、かように考えています。

丁々発止議論を行い、方向性を決めてまいりたいと思っております。

給食センターや養護・救護施設というのは、車椅子の方もおられますが、避難の可能な人が入っています。病院とか特別養護老人ホームとは避難ということに関して性格が違つて、理解をしております。

また、議会から提案がありましたら災害時に対応した利用形態等の実績が本場に役立つのか検証をしながら方向性を早く決めたいと思っております。

なお、専門家の方に聞いても津波に関心を持っていく方に聞いたら、津波は相当高くなる可能性があり、

その他の質問事項

- ◆福島原発事故を受けて
- ◆行政改革大綱について
- ◆市単独土地改良事業について



今建設予定の施設についても当然津波が来るので対応すべきという答えしか返ってこないでしょう。

私としては、最終的に自分たちのまちづくりについては、自分たちで決めていかなければいけないであろうと思っております。予想されることに対応することも含めまして街づくりの大きな観点の中で判断していきたいと思っております。

その他の質問事項

- ◆自主防災について
- ◆文科省の緊急提言、東日本大震災の被害を踏まえ
- ◆各学校施設の整備を問う



公明党

我妻 正三

空き家・廃屋対策について

【質問】

近年、全国的に空き家が増加しており、防災、防犯上の観点から問題になっています。人口の減少に伴い世帯数の大幅減が考えられ、空き家の廃屋化が進み、防犯上危険な状態になっていくことは、避けられない問題です。危険な建築物に対し、限定特定行政庁である本市は、所有者に対し、改善指導の責任が生じるの

日本共産党

坂尾 眞

行革大綱と人事政策

【質問】

平成20年度と今年度の市職員の雇用形態を比較すると、正規職員が107人の減に対して嘱託、臨時職員は190人増えています。水道局を含む市長部局の職員全体に占める非正規雇用

ではないかお聞きします。

【答 弁：建設部長】

限定特定行政庁として、確認申請事務等の権限が委譲されています。保安上危険な建築物に対するの勧告等については権限が委譲されていませんので、所有者に対して個人での対応をお願いしているところです。

【質問】

建築基準法第10条の規定によると、「著しく保安上危険であり、または、著しく衛生上有害であると認められる建築物に対しては、除去等を含めた保安上又は衛生上必要な措置をとることを勧告できる」とあります。この条文についての運用はどのよう

に考えておられるのかお伺いします。

【答 弁：建設部長】

建築基準法第10条で対象となる建築物は、100㎡以上の「特殊建築物」及び5階以上かつ1,000㎡以上の事務所等の建築物であり、宇和島市には、いずれの権限もなく、その指導権限は県に属するものです。前記以外の住宅等の建築物については、法第10条の適用外であり、基準法での対応が出来ないのが現状です。危険な建築物に対する対策については、「空き家再生等推進事業」などの国の支援制度の活用等を検討していかなければならないと思っております。

【質問】

空き家、廃屋の有効利用について「空き家再生等推

進事業」には2つの事業タイプがあります。「活用事業タイプ」は、空き家、空き店舗、学校統合後の廃校舎や空き庁舎の地域交流等の施設としての有効利用の改修に要する経費の補助があります。小学校が統合により廃校となりますが、今後の改修費用として導入すべきでないかお伺いします。

【答 弁：教育長】

教育委員会においては、率は、今年度39・2%で5人に2人が非正規職員です。特に比率が高い教育委員会の状況について、教育長はどうお考えですか。

閉校となる小学校は、現在活用方法を検討中ですが、こういった事業を活用し学校施設から他の用途へ転用することも有益なことだと考えます。民間の空き家、不良住宅の除去、空き店舗活用も含めて制度利用を検討したいと考えています。

【答 弁：教育部長】

【質問】

「除去事業タイプ」は防犯、防災上危険となった空

給食調理員や学校用務員など技能労働職の職員が多数おります。技能労働職については、正規職員の退職補充をしないという市の方針により、業務に支障が生じないよう臨時、嘱託職員の

き家の除去、所有者特定に要する経費の補助があります。危険な廃屋の除去などの廃屋問題解決の為にこの事業を活用すべきでないかお伺いします。

【答 弁：建設部長】

「除去事業タイプ」を県内で申請した市町はありませんが、他県では様々な問題があるようです。人口の減少、余剰住宅の増加が充分予想されますので廃屋等危険住宅の対策について、補助制度の活用を検討し、官民一体となり、老朽化した空き家の除去や中古住宅流通を促すような仕組み作りが必要だと思えます。

その他の質問事項

◆防災について

◆校庭芝生化、図書館の整備について

雇用を行っております。幼稚園についても、将来の園児の減少、民営化等を考え職員の雇用を現在行っていないことが、結果的に臨時、嘱託職員が多くなっていると認識しています。

【質問】

地方自治体の役割は、住民の福祉の増進を図ることを基本とされています。障害者雇用について、障害者雇用促進法では、地方公共

団体は2・1%が義務付けられています。しかし、宇和島市全体の障害者雇用率は大きく及ばないのが実態です。障害者福祉を図るべき地方公共団体の首長としてどうお考えですか。

【答 弁：市 長】

国が定めている率は満た

すべきであろうと思っております。率を満たしてないの

であれば、早急に対応を考えたと思っています。

【質問】

介護保険施設の民間移譲、非正規雇用による人件費抑制と財政状況について、介護9施設の雇用形態は非正規雇用率が62%です。湯乃香荘では、昼休みはおろか

まともに食事をとる時間もないという話も聞いています。人件費を抑制して、大きな赤字が出ているのかと

決算書を見ると、黒字が

決算書を見ると、黒字がでています。介護施設の財政状況についてどうお考えですか。

【答 弁：市 長】

財政的なとらえかたでは、表向きは利益が出ているように見えるが、民間ベースの償却まで含んで考えると赤字になっていると理解をしています。

【質問】

介護施設は、従事職員の努力で利益を出しており、赤字だから指定管理者制

度、民間移譲という理論は、

福祉を守り、充実させることを目的とする自治体のあり様とはまったく異質なものです。劣悪な環境の中で職員を働かせないこと雇側の責任だと思えますがどうお考えですか。

【答 弁：市 長】

指定管理者制度に基づいて民間委託が第3セクターなりで運営など、民ででき所は民でやってもらうのがいいだろうと思っております。湯乃香荘の問題について、

その他の質問事項

- ◆原発問題
- ◆行革と同和対策問題
- ◆住宅リフォーム補助制度
- ◆宮下の養豚場の悪臭問題

自民党議員会

小清水千明

教育問題について

【質問】

今年度初めに、市長と教育長が県を訪ね、南中の定数の見直しを求めたと聞いております。その真意はなんなのか、市長にお聞きしたいと思えます。

【答 弁：市 長】

県の教育長に、この中等学校の目指すのは何ですか

という事をお聞きしましたが、残念ながら明確な答えはいただけなかったと思っております。

中等学校を受け入れたころは宇和島の子どもの約10%強が中等学校に入り、

それで4クラス160人という定数を満たしていたと思えます。今年の実績では、宇和島圏域の23%の子ども

が中等学校に入学しています。約4分の1の子どもの中等学校に入学する。これについて、私としては疑問を持たざるを得ません。

今の0歳児が入学すると、さらに子どもが2割減ると

いう状況がはつきりしています。18年度に合併した直後に小学校6年生が870名程度でした。それが今、

700名台。これが0歳児のところになると500名台。そんな中で南中だけが、

4クラスを維持するのは、私は大変疑問に思います。

【質問】

私も県教委の方に行きました。宇和島南は今、倍率1・4倍あります。そうやって

需要があるなかで宇和島南を減らすつもりはありませんという返答でした。生徒数が極端に減っていくという事は、8年前にも分かっていたはずでございます。それを今になって持ち出してくるのは、いかがなものかと思えます。

それと、夏休みに南中で公開授業を行いました。子どもたち194名集まって、非常に熱心に先輩方を見て

やっていたのかな。部活はどんなかな。部活にして

も中学校3年になりました。も高校入試が無いのでそのままは高校生と一緒に部活ができるというメリットもござります。そういう現実を踏まえまして教育長のお考えをお聞きします。

【教育長】

南中の倍率が高い原因は、この地域に中高一貫教育が他にないということだと思えます。市立中学校が荒れているという風評も一部影響していると思えます。

ただ、南中も受験の希望者数は平成16年度の開校後、

4、5年間は宇和島市立中学校へ進学するはずの旧宇和島市内の6年生の約50%の児童が受験をしておりますが、その後、本年度まで

自民党市民クラブ

正木 健三

防災について

【質問：正木議員】

震災から半年が過ぎ、私たち市会議員の大半が、被災地に行きました。

石巻市雄勝町では、耐震工事をした、二階建ての小学校、三階建ての中学校の窓ガラスの全てが割れていました。

宇和島市内の学校耐震工事の進捗率は何%で、工事の終了はいつごろになるでしょうか。

【答 弁：中原教育部長】

小中学校46校に140棟の建物があります。耐震強

社会民主党

岩城 泰基

【質問】

鳥獣害防止対策について

愛媛県の野生鳥獣による平成21年度の農作物被害金額は3億1千495万円。

イノシシ被害は2億175万円です。市では、21年から鳥獣被

害防止計画を策定しています。その計画の進捗状況を、イノシシ被害を中心に質問

約30%台と受験する児童数の割合が減ってきております。

【質問】

南中の先生方も非常に頑張っております。うちの中

等教育学校に入れたいんだと。少しでも入れて立派な大人を作ると言ったらあれですけど、うちで授業させてうちの風紀をもっと高め

たいんだと校長先生も一生懸命頑張っておられます。同じように、宇和島市の教育委員会もよそからうらやまれるような市立中学校を、

作っていただきたいなという風に思っております。

その他の質問事項

◆防災対策について

度が保たれている建物が78棟、耐震化率は55・71%であり、全国平均77・7%、

災組織の訓練以上の成果が上がるもの思っています。教職員の取り組みの意識

進んだ教育ができました。今後もご協力をいただきながら各学校を進めていきたくと考えております。

る協定について市長の考えをお聞きします。

【答 弁：市長】

状況です。学校の設置者として危惧されている状況を真摯に受け止め、これまでの計画を前倒しし、平成27年度までに学校施設の耐震化100%を目指してまい

り、こういう取り組みしている学校は少ないと聞いています。子供たちの防災教育はどうなっているのかお聞きします。

【質問：正木議員】
干曲市において、宇和島市、射水市、横芝光町と姉妹都市を締結しています。宇和島市以外とは、災害時の相互援助協定を結んでい

今回の大震災で実感したが、仙台市は遠いところと

りたいと考えております。

【答 弁：明神教育長】
学校では、「自分の命は自分で守る」ということを基本として、教育も訓練もいたしております。ご指摘のように保護者だけでなく

なにかと思われま

どこと締結するのがいいのか更に煮詰めてできるだけ早く結論を出したいと考えております。

【質問：正木議員】
以前、蔦刈小学校の防災授業を参観させていただきました。子供たちとPTAが、自分たちの住んでいる場所の地図を描き、危険な場所、通学路、高台への小道に印をつけ、どう避難するのかのすばらしい授業を行なっていました。PTAを取り込むことで、自主防

【答 弁：明神教育長】
学校では、「自分の命は自分で守る」ということを基本として、教育も訓練もいたしております。ご指摘のように保護者だけでなく

宇和島市も距離的に近く、東南海地震の影響のない山陰、西九州の都市、例えば牛鬼で交流のある倉吉、古い文化の街萩市、かまぼこの浜田市といった都市と災害援助協定は結ぶことは出来ないでしょうか。すみやかに船による援助品の搬送が出来、人員の交流が出来

◆行政改革大綱について
◆同和対策について

その他の質問事項

◆行政改革大綱について
◆同和対策について

します。鳥獣被害の直近3カ年の被害面積、被害金額の推移についてお聞きします。

【答 弁…産業経済部長】

直近3カ年の鳥獣被害金額は、20年度は5千863万7千円。このうちイノシシが、2千495万2千円です。21年度が6千710万1千円。イノシシが2千701万円。22年度が六千691万6千円。イノシシが2千781万4千円。増加しております。

面積は、20年が48・11ha。イノシシが27・54ha。21年が57・99ha。イノシシが32・3ha。22年が56・01ha。イノシシが30・52ha。増加しております。

有害鳥獣の駆除は、猟友会に依頼して、鳥獣ごとに褒賞金を設定して行っています。捕獲数がイノシシについては20年度497頭、22年度927頭と3年間で2倍近くも駆除しております。防止柵等にも補助を活用して、毎年度設置をしておりますが、被害を減少できない現実がございます。

【質問】

西予市で去年の3月オープンした「ししの里せいよ」について、どう考えるかお聞きます。

【答 弁…産業経済部長】

「ししの里せいよ」は、イノシシコロケとか、これの移動販売、それからハムソーセージ化等をやっております。旧城川町は、早くからドイツに人を派遣してハム、ソーセージの技術を導入して町の特産品にしています。その畜肉の加工販売の20年以上のノウハウをもたれている西予市ならではのことがなという気もします。そういった伝統がない宇和島市ではありますが、勉強させてもらいたいと思います。

【質問】

9月9日八幡浜、イノシシ暴れ4人重症という報道がありました。農作物被害だけでなく、安全面についての検討も必要です。

また、被害統計に反映されにくい販売農家でない高齢世代の農作物も被害にあっています。75、6も過

ぎたお年寄りが一生懸命、柵を作って破られて、農を貸して欲しいという相談があります。しかし、農を設置するには免許がいります。高齢者世帯に免許をとれといっても無理です。イノシシの駆除についてはこういった細かな対策も必要です。

お年寄りから販売農家、

自民党議員会

(現自民党島志会)

薬師寺三行

自治体の有事での安全管理と市民の役割について

【質問】

防災対策組織の編成や対策本部設置場所、要員確保体制のマニュアル化、警報伝達体制、防災無線の整備や緊急時避難場所の設定、避難経路は確立されているか。宇和島道路は一次避難場所として活用は可能か。自力避難困難者や弱者・高齢者の把握とその対応した訓練はなされているか。

【答 弁…危機管理課長】

すべて対象にしてイノシシ被害からどう守っていくか。そのためには、モデル地区等を作って実効性のある有害鳥獣対策を検討する必要がありますかと思えます。

【答 弁…産業経済部長】

農の免許取得に予備講習会が必要でこの講習会の補助を今年度予定しています。小さな集落の崩壊にも繋が

防災対策組織の再編成については、災害対応初動マニュアルを作成し、災害の規模に応じ、第1次から第3次配備体制までを決め、職員に周知しているところですが、今後さらなる徹底を図りたいと考えています。

防災対策本部設置場所は、検討しているところです。

警報伝達体制、防災無線の整備については、旧宇和島市は同報系放送設備が未整備のため、迅速確実な情報伝達は困難な状況にありますが、整備には時間を要するため、現在、城山サイレン等の既存放送設備の活用を検討しています。

りかねない問題だと認識します。ただ、本当に難しい問題であり、もっと国や県が強烈なリーダーシップをとってどんどんやっていただきたいなと思えます。

その他の質問事項

- ◆自然災害への対応
- ◆原子力発電について

津波一時避難場所は、現地調査を実施しており、ほぼ完了している状況です。避難路は今後ある程度、避難場所を統合し、整備が必要と思われる箇所は検討したいと考えています。

【答 弁…建設部長】

大洲河川国道事務所より、宇和島道路に関しては「高規格道路の整備と併せて、副次的な効果を考慮し、避難場所としての活用を検討している。」という回答があり、市としても、今後も協議して参ります。

【答 弁…保健福祉部長】

災害時要援護者避難支援プラン・個別計画策定に向け準備作業を進めています。

行政視察報告

議会運営委員会

日程 5月31日～6月2日

視察地 滋賀県守山市
奈良県天理市
大阪府和泉市
大阪府大阪市

目的

○議会改革と議会基本条例について

○東南海・南海地震で想定される津波について

参加議員

- 委員長 小清水千明
- 副委員長 石崎 大樹
- 委員 浅田 良治
- 〃 三好 貞夫



委員	山内 秀樹
〃	松本 孔
〃	上田 富久
〃	赤松 与一
〃	大窪美代子
〃	三曳 重郎
議長	福本 義和
副議長	清家 康生

【質問】
災害時の医療救護体制はどうか。訓練の実情、医療品、医薬品の備蓄状況、また、各個人への薬手帳の配布、データ登録の管理体制は整っているか。
【答 弁】医療行政管理部長
市立宇和島病院では、既に大規模災害を想定して、

トリアージという訓練を行っていますが、色々問題点も出てきています。やはり、こういう時に一番大事なものは、指揮命令系統の確立であると考えています。衣料品、医薬品の備蓄は、どちらも三日分用意していますが、ヘリポートがありますので、物資の救援に

ついでにはあまり心配していません。薬剤手帳配布、データ登録保存管理については、基本的に当院に来院歴のある患者様については、全て薬剤の管理はできています。
◆ 防災教育、受ける側と指

◆ 津波標識、GPSでの海抜表示、各地区への設置について
◆ 津波、高潮対策について
◆ 消防団員、救助隊員の身の安全確保について
◆ 飲料水について
◆ 清掃活動について
◆ ライフライン寸断での対

◆ 横峯式教育について
○ 自然の脅威と災害の教訓について
◆ 公共事業施設の見直しについて
◆ 宇和島市公用車の車体の色の統一について
◆ 宇和島スカイツリー高森山の防災対策について

総務委員会

日程 7月4日～7日

視察地 北海道北広島市
〃 古宇郡泊村
〃 富良野市

目的

○政策評価について

○インセンティブ制度について

○泊原子力発電所について

○ふらのまちづくり株式会社について

参加議員

- 委員長 三好 貞夫
- 副委員長 三曳 重郎
- 委員 木下善一郎
- 〃 薬師寺三行
- 〃 赤岡 盛壽



厚生委員会

日程 6月28日～7月1日

視察地 福岡県福岡市
鹿児島県志布志市
長崎県島原市

目的

○子どもの村センターハウスについて



委員長	大窪美代子
副委員長	赤松 孝寛
委員	浅田 良治
〃	泉 雄二
〃	兵頭 司博
〃	赤松 与一
議長	福本 義和